



2025 年8月 20 日

各位

会 社 名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 杉山 悠
(コード番号:7707 東証グロース)
問 合 せ 先 財務・経営企画部長 小倉 武治
(TEL 047-303-4800 <https://www.pss.co.jp/>)

2025 年6月期 決算説明会の実施について

以下のとおり、2025 年6月期 決算説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

■ 開催状況

日時 : 2025 年8月 20 日(水)
13 時 30 分開始 機関投資家向け決算説明会
形式 : オンライン動画配信

■ 添付資料

2025 年6月期 決算説明会資料

以上



2025年6月期 決算説明会

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社

2025年8月20日



1. 2025年6月期(40期)連結実績報告

- ① 現中期事業計画(FY25/6～FY27/6)
- ② 2025年6月期 通期連結実績報告
- ③ 2025年6月期 営業損益の改善(損失額縮小)
- ④ 2025年6月期 主なイベントの振り返り(抜本的な構造改革の実行)

2. 2026年6月期(41期)連結業績予想

- ① 2026年6月期連結業績予想
- ② 2026年6月期 営業損益予測(黒字化)
- ③ ガバナンスの強化および内部統制の再構築
- ④ 財務基盤の再構築と成長に向けた資本政策

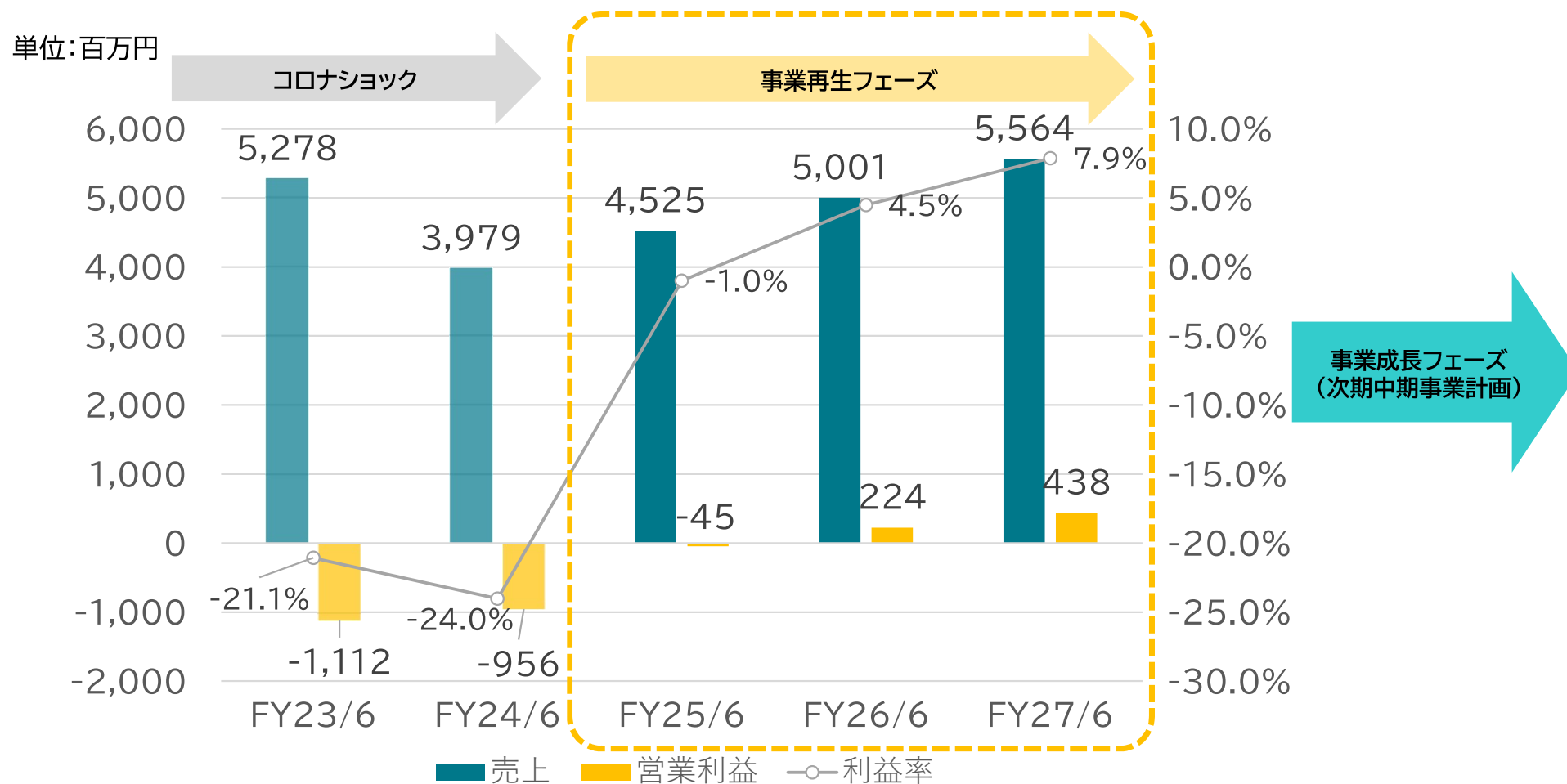
3. 2025年6月期の総括と2026年6月期の経営方針

1. 2025年6月期(40期)連結実績報告

1. ①現中期事業計画(2025年6月期～2027年6月期)



- 当該期間を「コロナショック後の事業再生フェーズ」と、抜本的な構造改革を推進し収益体質への転換をはかり、事業成長の基盤を再構築します



1. ②2025年6月期 通期連結実績報告



単位:百万円

	FY25/6 中期計画	FY25/6 実績	計画差額	差異率	FY24/6 実績	YoY差額	YoY差異率
売上高	4,525	4,692	+167	+1.6%	3,979	+713	+17.9%
営業利益	- 45	- 121	- 76	-	- 956	+835	+87.3%
経常利益	- 59	- 139	- 80	-	- 1,010	+871	+86.2%
純利益	- 59	- 253	- 194	-	- 1,121	+868	+77.4%

● 中計比較：売上達成するも、在庫適正化のための棚卸資産評価損、子会社ソフトウェア不正使用関連費用等により利益未達

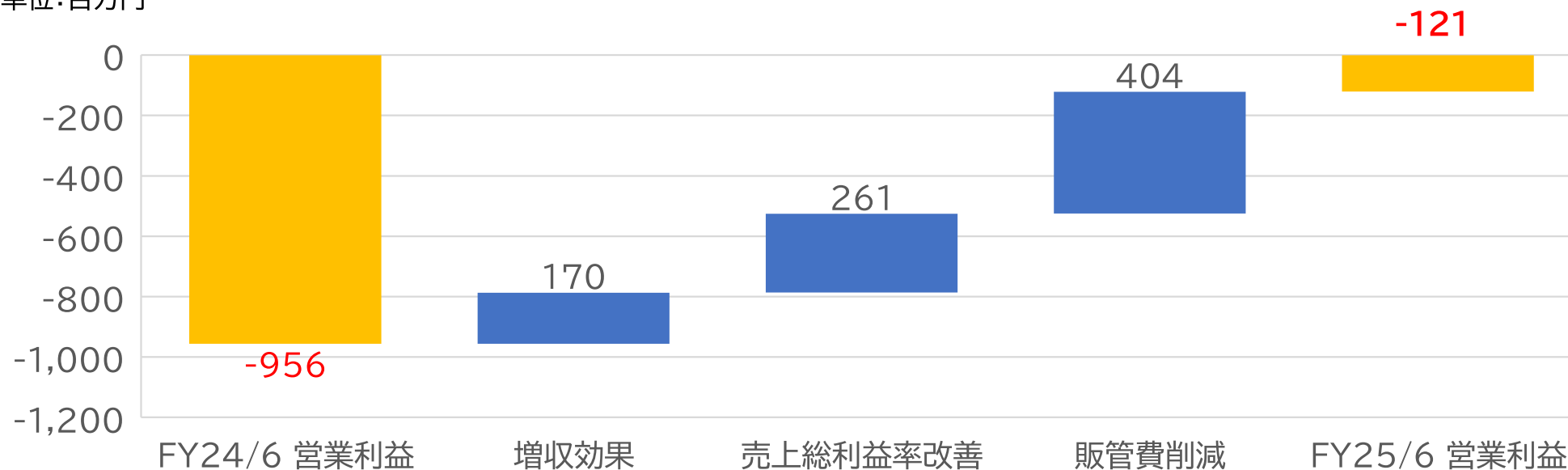
● 前期比較：大幅増収、増益

➤ 構造改革効果が業績に反映、改善軌道へ

1. ③2025年6月期 営業損益の改善(損失額縮小)



単位:百万円

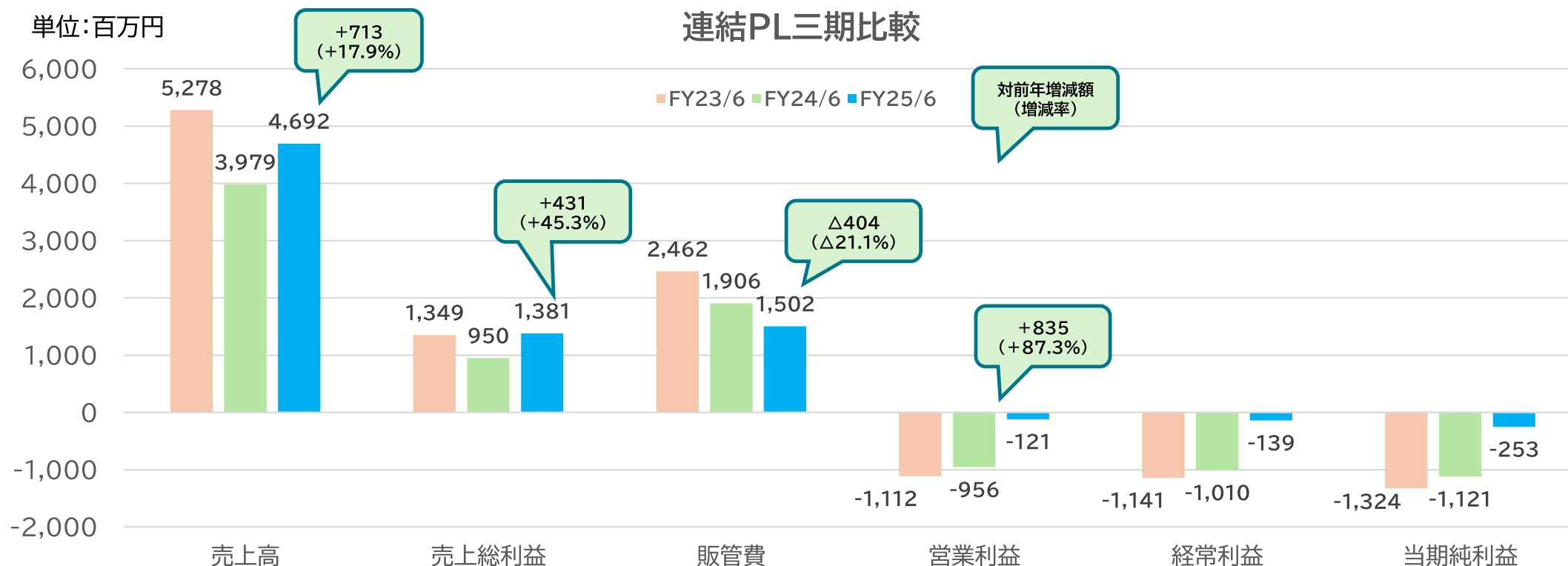


営業利益への寄与について:

- 売上:ELITechGroup向けODM製品を中心に堅調に推移し、17.9%増収による増益効果+170百万円
- 売上総利益:試薬原価の改善により、利益率が前期比5.5pt改善(23.9→29.4%)による増益効果+261百万円
- 販売管理費:抜本的な事業再編の実行が計画どおりに推移、404百万円減少(前年比-21%)

※当社の製品は製品設計の段階から受託するケースがほとんどであるため、当期より従来の表現であったOEMから「ODM (Original Design Manufacturing)」へと表記を統一いたします

1. ③補足資料：連結PL三期比較(2023年6月期～2025年6月期)

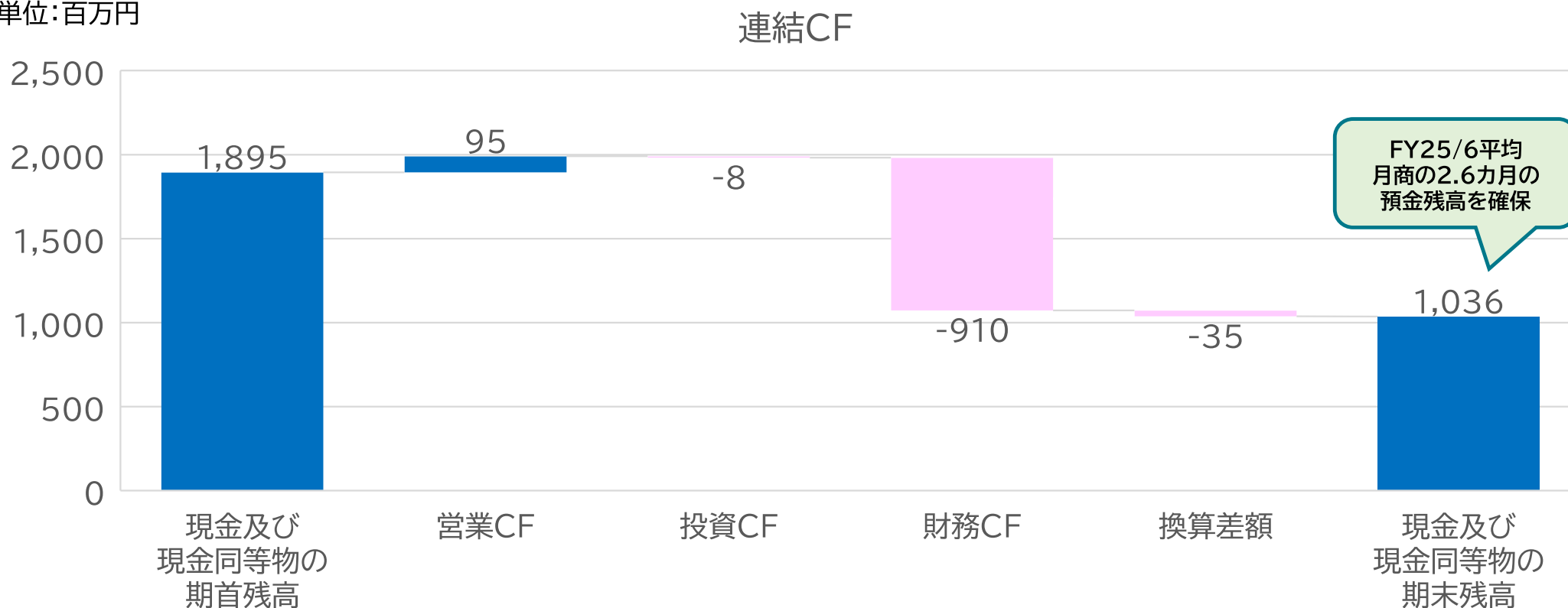


- 収益:売上高、売上総利益、営業利益、経常利益、当期純利益のすべてが対前年比で改善。
- 販売管理費:前々期の2023年6月期より削減を継続。

1. ③補足資料：2025年6月期 連結キャッシュ・フロー



単位:百万円



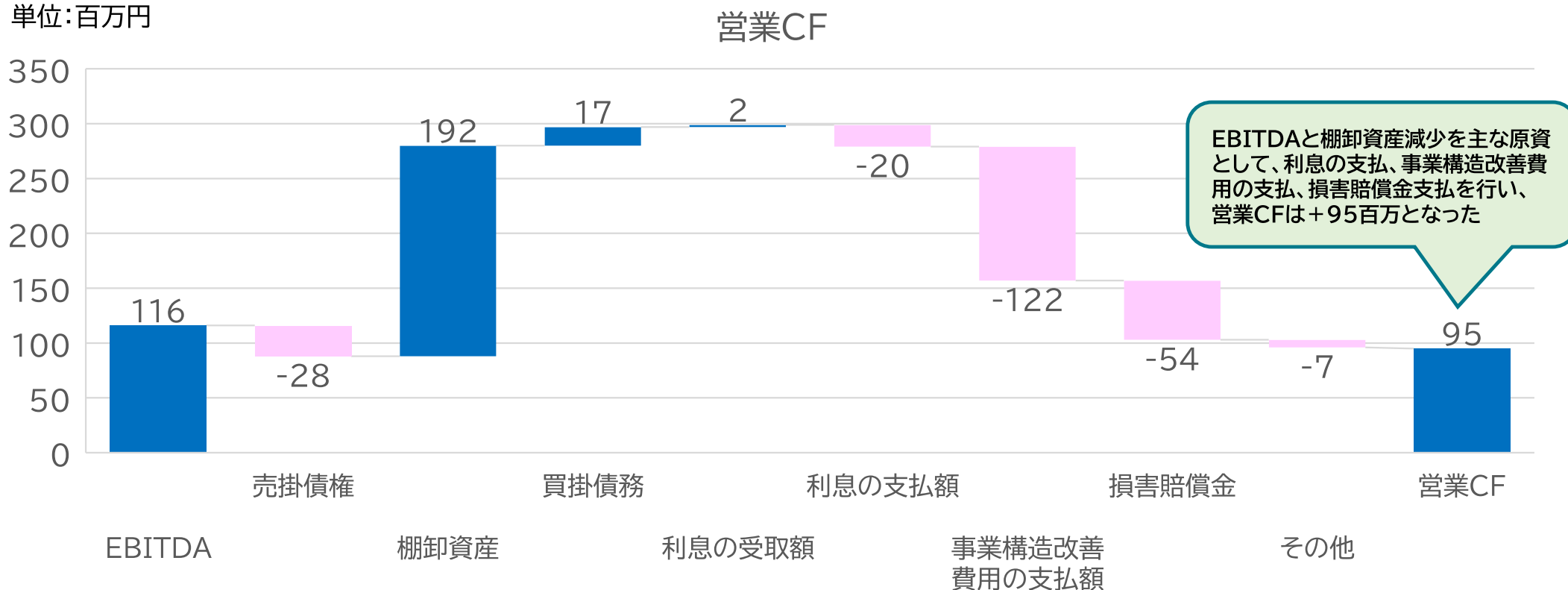
● 営業CF: +95百万円(内訳は次ページ)

● 財務CF: 短期借入金返済 - 300百万円、長期借入金返済 - 502百万円、自己株式取得 - 100百万円、リース債務返済 - 8百万円 ※コベナントが付された長期借入金については、全額返済完了

1. ③補足資料：2025年6月期 連結営業キャッシュ・フロー



単位:百万円



- EBITDA: +116百万円、棚卸資産の減少+192百万円、買掛債務増加+17百万円、利息の受取+2百万円
- 売掛債権増加:- 28百万円、利息の支払 - 20百万円、事業構造改善費用の支払 - 122百万円、損害賠償金支払 - 54百万円、その他 - 7百万円

1. ④2025年6月期 主なイベントの振り返り(抜本的な事業構造改革)



■ PF・BioLine(フェローテックHD社との合併会社)の解散

- 経営状況を鑑みた「選択と集中」の観点から、2024年12月11日に解散

■ 連結子会社UBRの株式譲渡完了

- 経営状況を鑑みた「選択と集中」の観点から、UBRの全株式を田島秀二氏へ譲渡し、連結子会社から除外

■ 連結子会社PSS USAの解散

- 経営状況を鑑みた「選択と集中」の観点から、2025年3月28日に解散を実行

■ 連結子会社NPSの吸収分割手続き開始

- 堅調な試薬および消耗品製造事業(大館試薬センター)を会社分割により、2025年9月1日に継承予定、2025年7月1日に先行して事業運営統合済
- PSS主導での工場運営による、増産体制の構築とコスト低減を実行
- 吸収分割および合併化の妨げとなる、担保設定解除に伴う、ローンの弁済および資本政策の再構成

■ 連結子会社NPSのQuaero社との合併化に伴う投資契約書を締結

- 経営状況を鑑みた「選択と集中」の観点から、Quaero Life Science社(中国)よりNPSへの出資を受け入れ、合併化する投資契約を2025年6月27日に締結

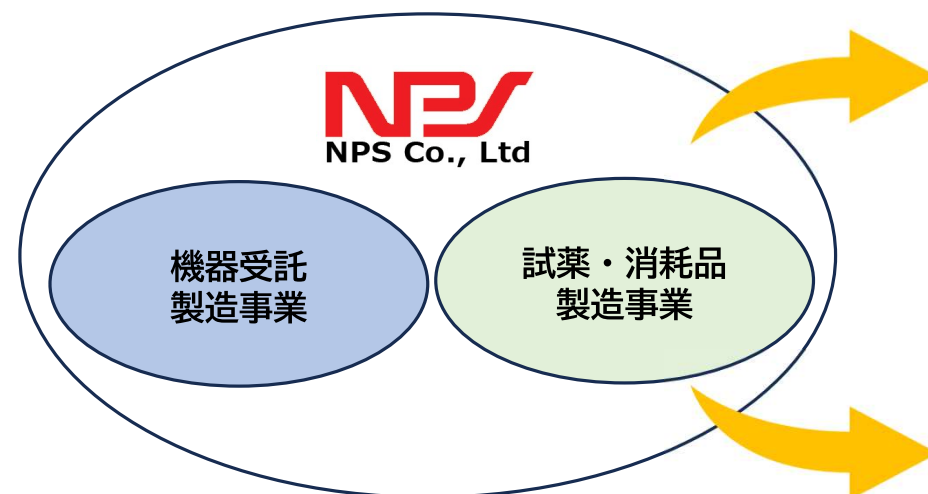
➤ 構造改革により収益体質への転換が進む

1. ④補足資料： NPS事業再編～Quaero社との合併会社化



①再編背景

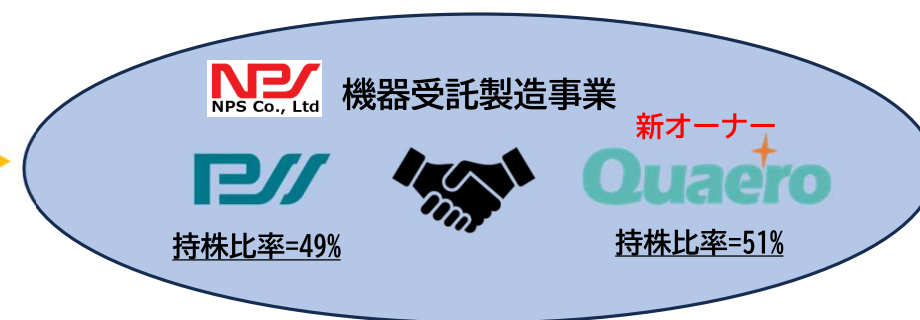
- PSS向け核酸抽出装置および外部向け装置用モジュールの受託需要が減少



- ELITechGroup向けのODM製品を中心に、核酸抽出試薬の出荷数が前年同期比で30%以上増加
- 核酸抽出試薬と付帯する消耗品の売上が前年同期比で50%以上増加

②Quaero社との合併会社化

- 9月末までにNPSの第三者割当増資を実行予定（完了後NPSはPSS持分法適用会社）
- 先行して7月1日よりQuaero社主導の新経営体制で運営開始
- 生産効率改善と海外向け装置生産体制を再構築



③試薬・消耗品製造事業を分割、PSSに吸収

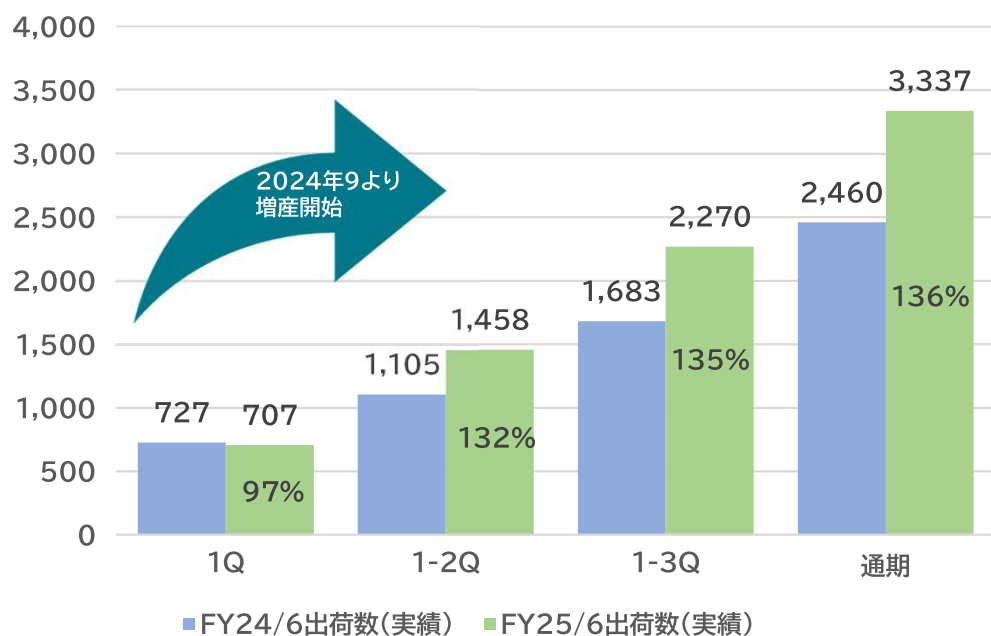
- 9月末までに分割しPSSに吸収
- 試薬消耗品の原価改善と販売拡大を目指す

1. ④補足資料：核酸抽出試薬・消耗品の販売実績



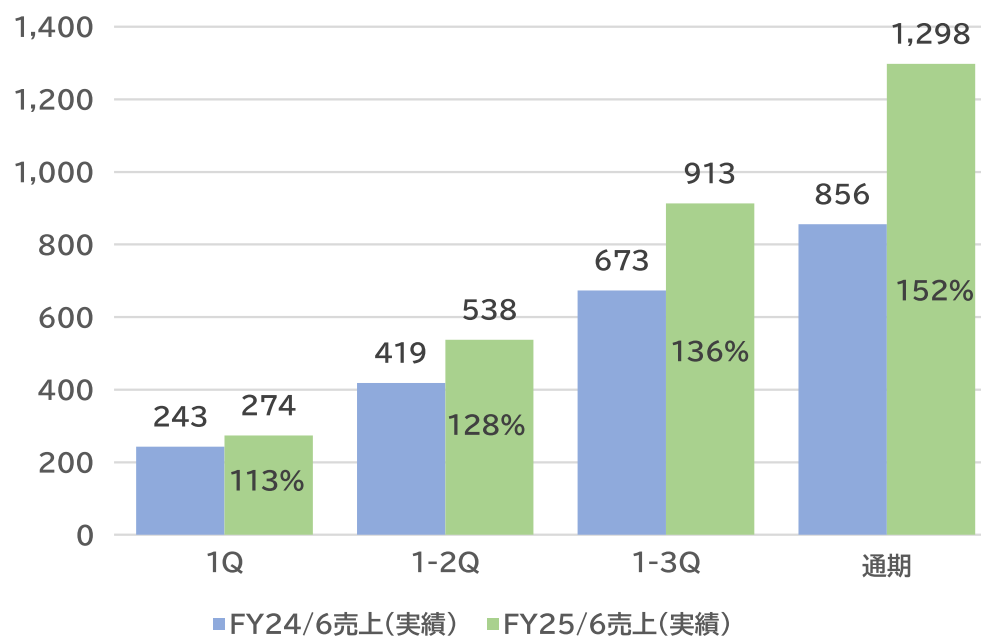
単位：千テスト

核酸抽出試薬の出荷数YoY(FY24/6～FY25/6)



単位：百万円

核酸抽出試薬・消耗品の売上高YoY(FY24/6～FY25/6)



※上記数値は、遺伝子検査向けプラットフォーム専用の核酸抽出試薬・消耗品のみを対象としており、その他の用途向け消耗品は含まれておりません。

2.2026年6月期(41期)連結業績予想

2. ①2026年6月期連結業績予想



単位:百万円

	FY26/6 中期計画	FY26/6 予想	計画差額	差異率	FY25/6 実績	YoY差額	YoY差異率
売上高	5,001	4,942	-79	-1.6%	4,692	+230	+4.9%
営業利益	224	114	-116	-51.8%	- 121	+229	-
経常利益	-	89	-	-	- 139	+339	-
純利益	-	77	-	-	- 253	+330	-

● 中計比較：新規ODM製品の開発計画見直しにより下振れ予想

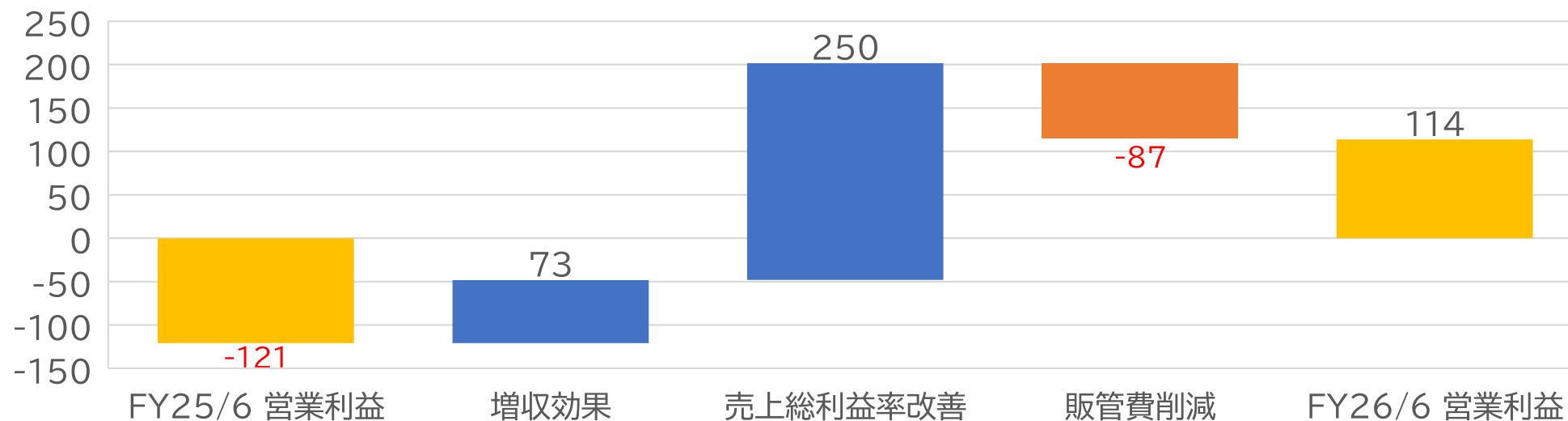
● 前期比較：堅実な増収と収益性改善から黒字転換を目指す

- ※ 連結子会社であるNPSは2026年10月（当社第二四半期）よりQuaero社との合併化が成立する予定です
これに伴い、当社の連結対象からは除外され、以降は持分法適用会社として、持分法による投資損益を計上いたします
- ※ FY2026.6期の為替レートは150円/ドル、160円/ユーロを基準として試算しています

2. ②2026年6月期 営業損益予測(黒字化)



単位:百万円



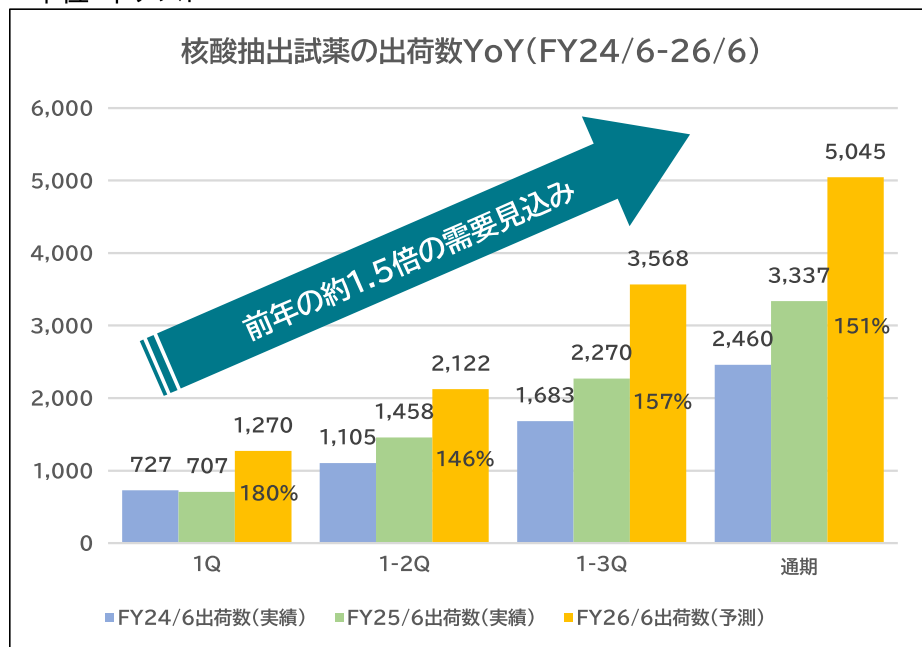
営業利益への寄与について:

- 売上:ELITechGroup向けODM製品を中心に堅調に推移し、5.3%増収による増益効果+73百万円
- 売上総利益:抽出試薬生産操業度向上による利益率5.1pt改善(29.4→34.5%)による増益効果+250百万円
- 販管費:新製品上市による初期流動対応、POPs条約等の輸入規制物質への対応、医療機器のサイバーセキュリティ要求への対応、新規試薬の薬事関連費用の増加により-87百万円

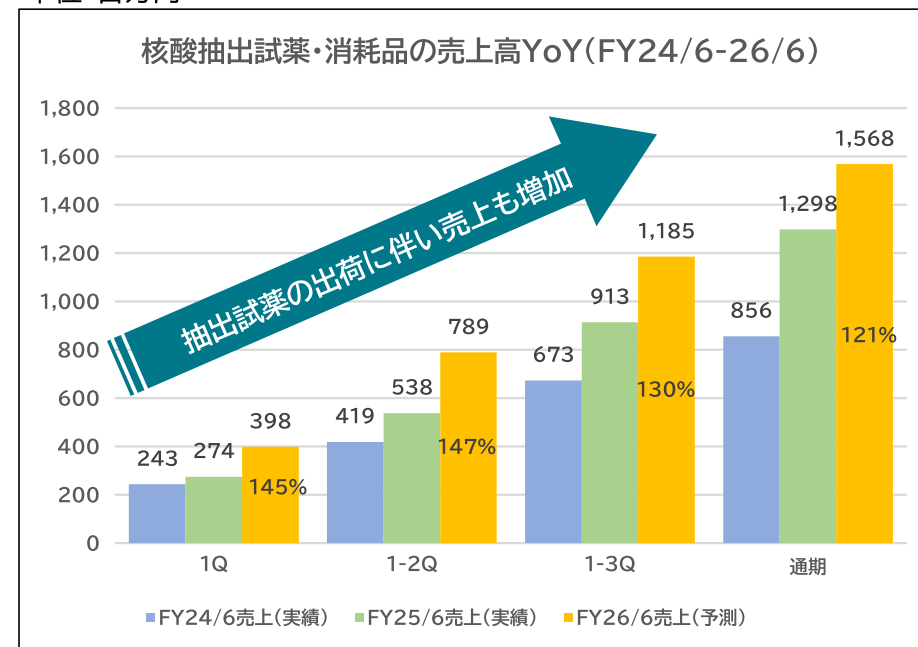
2. ②補足資料： 核酸抽出試薬・消耗品の販売予測



単位:千テスト



単位:百万円



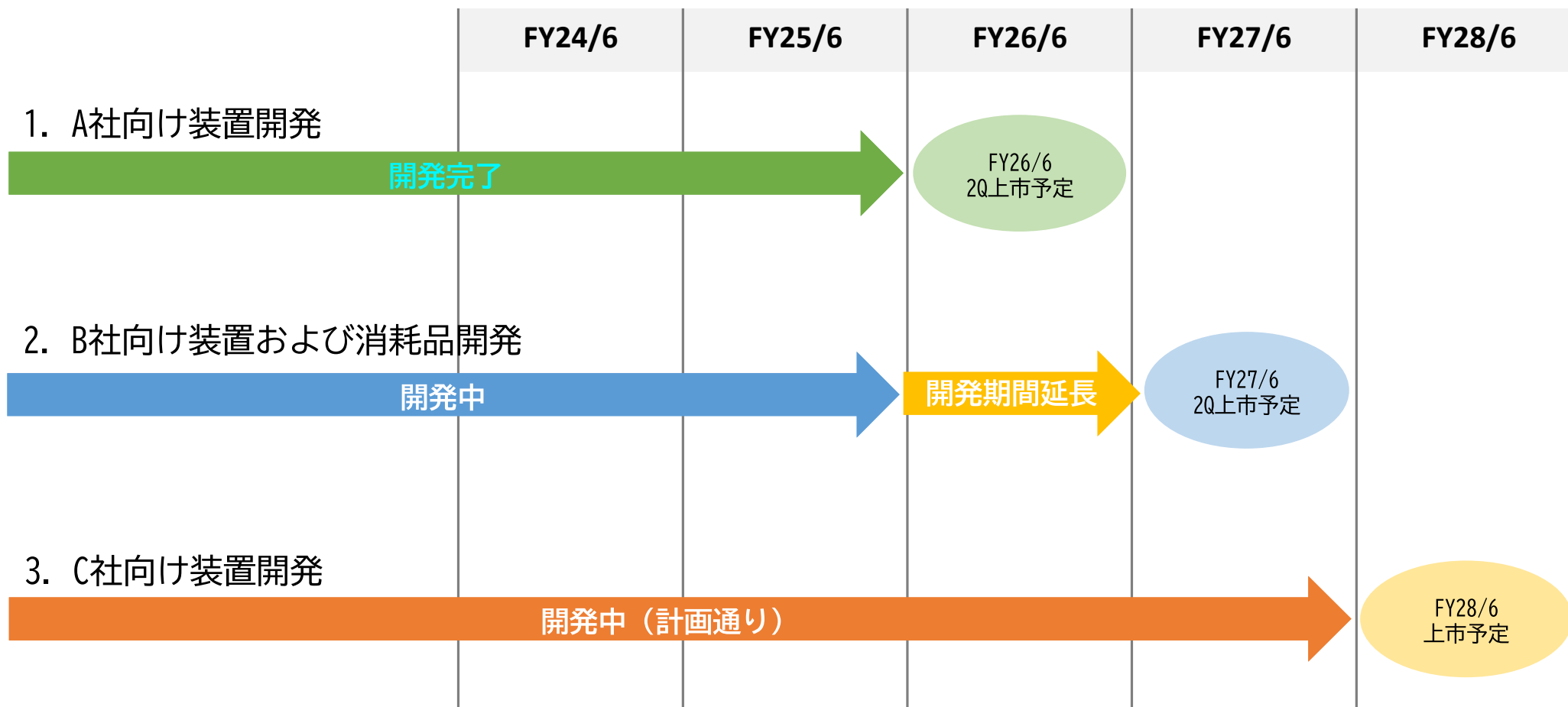
※上記数値は、遺伝子検査向けプラットフォーム専用の核酸抽出試薬・消耗品のみを対象としており、その他の用途向け消耗品は含まれておりません。

- ELITechGroup向けのODM製品を中心に、核酸抽出試薬の出荷数が前年同期比で50%以上の増加見込み
- 核酸抽出試薬と付帯する消耗品の売上が前年同期比で20%以上の増加見込み
- 稼働率アップ、歩留まり改善により、さらに利益率向上を目指す

2. ③補足資料： 新規ODM製品受託開発の推進状況



- 当社の基盤事業であるODM製品開発の新規受諾および開発計画達成を確実に推進
- B社向けODM装置は顧客判断により開発期間を延長(A社/C社は計画どおり)



2. ③ガバナンスおよび内部統制の強化

■ 業績に関する経営責任明確化

- 中期事業計画を下回る業績の経営責任明確化のため代表取締役社長の役員報酬を20%カット

■ 黒字化、復配を条件とした取締役株式報酬制度導入提案

- 事業再建、株主還元のインセンティブ(2025年9月26日 定時株主総会付議予定)
- 新制度の導入にともない現行の株式報酬制度は廃止

■ 専門知識を有する社外取締役招聘による監視体制強化

- 独立した立場からの助言および監督機能の強化(2025年9月26日 定時株主総会付議予定)

■ 外部専門家へのコンサルティング委託

- 内部統制およびIT統制に実績ある外部専門機関による第三者的支援を活用

■ グループ全体のコンプライアンス教育実施

- 子会社や営業所を含む、グループ全体へのコンプライアンス教育を継続的に実施

■ 管理部門の組織再編および人材強化

- 体制整備と人材拡充を通じ、実効性ある内部統制体制の構築を推進

➤ **ガバナンスと内部統制の強化を図り、企業価値の持続的向上を目指す**

2. ③補足資料： 新規・株式報酬制度導入の概要(定時株主総会付議予定)



本議案に基づく報酬制度は当社が事業再生フェーズにあることに鑑み、本事業年度1回限りで付与

- 交付株式 : 譲渡制限付株式(保有自己株式を原資)
- 交付対象者 : 取締役5名(社外取締役2名含む)
- 株式数上限 : 270,000株以内(うち社外取締役分は40,000株以内)
 - ・ 8月13日終値による上限株式数の評価額は約52百万円
 - ・ 上限は2事業年度又はそれ以上にわたる職務執行の対価に相当するため、実質的には1事業年度につき135,000株以内(うち社外取締役分は20,000株以内)であり、自己株式数を除く発行済株式総数に占める割合は0.496%とその希薄化率は軽微
- 交付時期 : 2025年10月を予定
- 無償取得に関する取扱い:以下のいずれかに該当する場合、当社は交付した株式の全部または一部を無償で取得できる
 - (1) 対象者が所定の在籍期間内に退任
 - (2) 2027年6月期の連結純利益が赤字
 - (3) 2026年6月期または2027年6月期について配当未決定
- 譲渡制限解除 : 対象者が当社の役職を退任時

2. ④財務基盤の再構築と成長に向けた資本政策



■ 債務再編と金融体制の再構築

- 借入535百万円の繰り上げ弁済により財務制約を解除(抵当権抹消、コベナントの解除、NPS合併化推進)
- 売上増加により生ずる可能性のある運転資金需要見込みに対し、メインバンクを含む2行と新規融資の調整中

➤ メインバンクを中心に借入金を活用した中長期的な資金安定性の向上

■ 資本剰余金による繰越欠損金の填補

- 将来の配当実施に向けて制度的条件を整備(2025年9月26日 定時株主総会付議予定)

➤ 安定配当を志向

3. 2025年6月期の総括と2026年6月期の経営方針



2025年6月期は在庫適正化に伴う棚卸評価損、連結子会社のソフトウェア不正使用に関連する対応費用等により黒字化は果たせなかったものの、主要顧客の受注増加から**売上高は前年同期比18%の増収、売上総利益率は前期比5.5pt改善**しました。

2026年6月期は、引き続き増収、売上総利益率の改善に努め、**黒字転換**をはかります。

PSSは株主価値の最大化を最優先に掲げ、
短期間での事業再生と業績改善を加速させるとともに、
未来志向の成長戦略を積極的に推進し、持続的な企業価値向上に努めてまいります。



□（将来の見通しに関する注意事項）



本資料に記載の内容は、当社グループの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。

これらは、本資料作成時において入手可能な情報に基づいた予想値であり、潜在的なリスクや不確実性が存在しています。そのため、本資料に記載されている将来見通しが、実際の業績と大きく異なる場合があることを、ご承知おきいただきますよう、お願い申し上げます。

2025年8月20日
プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
URL：<https://www.pss.co.jp>

（お問合わせは、IR担当まで）
電話：047-303-4800
メール：ir@pss.co.jp